

令和6年度第1回学校関係者評価委員会 議事録

2024.08.26 書記：古川

<出席者>

[外部委員]

古川 雅英 新潟県菓子工業組合 専務理事
三島 茂 新潟県司厨士協会 名誉会長
神子島 真 株式会社神子島製作所 専務取締役
山岸 貴 中央会計 代表社員 所長
渡辺 建太 株式会社渡森 代表取締役社長
伊藤 佑二 御料理 京相模

[学校委員]

渡辺 忠雄 (理事長)
渡辺 弘子 (学園長)
出塚 彩 (校長)
阿部 正一 (教頭)
紫竹 武 (統括本部長)
鈴木 潤 (実習統括部長)

[事務局]

堀 慶
渡辺 真理子

▶開会の挨拶 (学園長)

令和6年度については非常に順調に進んだと思う。学生についても、アンケートの結果により喜んで学生生活を送っているように思う。皆様の意見をいただきながら、取り入れて行きたいと思う。

(渡辺)

学校が順調に運営しているということで評価委員として嬉しく思う。ぜひ活発な意見を交わしていただいて適正な評価をしていきたいと思う。

▶学生アンケート結果報告 (堀)

今回はアンケートを製菓・調理の学生ごとに分けて集計した。

そのため学生の人数の分母が異なり、人数の多い製菓の方が数字がよく見えるのでご承知おきいただきたい。

授業アンケート

I 受講態度について

② 理解できたか→95%に近い数字で高い。

②自身の授業態度→7月より3月は少し落ちている、「自分は良くなかったかもしれない」と反省している。

③意欲的に取り組んでいるか→製菓は100%を達成

④授業外でのどのくらい勉強しているのか→半分は「ほとんどしない」が、残りの半分は「2時間やっている」という答えだったので、専門学生の忙しい中ではできていると思う

⑤興味・関心が湧いたか→7月より3月のほうが上がっている。授業を受け続けることによって、興味・関心が高まってきているのだと思う。

Ⅱ担当教員について

①説明はわかりやすかったか②熱意は感じられたか→100%に近い数字。

③副教材を使った授業→効果的だったと実感している。

教えてくれる指導者に対しては、熱意を持って分かりやすく教えてくれたという判断を学生はしてくれていた。

その他、自由記述欄では「チョコレートの授業が楽しかった」「熱意が感じられる」という意見も出てきた一方で、「栄養学が難しかった」「ノートを書ききれない」という答えもあった。近年、通信制高校出身の学生、もしくは高校時代に不登校で学校での学習習慣がついていない学生も増えているので、座学に対する苦手意識には幅が出てきているようだった。

学生アンケート

I

②学校生活を送る上で目的を持っているか 高い数字。中には「なんとなく」授業を受けている、何かしたいことが明確にはない人もいる

Ⅱ

行事に意欲的に参加しているか 中にはイベントが苦手、球技大会のような運動することに抵抗がある、という子は一定数いる

③クラスの雰囲気は良いか 7割くらいが「良い」女子は少人数で・男子は大人数で集まる傾向にある。

令和6年度 重点目標について（出塚）

教育理念は創業当初から変わらずにつないでいる

いつもいきいきと自由な発想で取り組み

いつまでも夢を持ち続け 物事には果敢に挑戦する

ことあるごとに学生に伝えている

令和6年度 学校評価の説明

(2) 課題：まだ紙媒体が多用されている

改善もされてきたものの、紙の利用は多く感じるので、より一層のChromebookやチャットの活用を行いたい。DXを進める必要もある。

(4) ⑫⑬

職員の指導に当てる時間がまだ少ないと感じる。改善していきたい。

(5)

⑦⑧保護者と連携しているか

7月に保護者会を開催した。保護者との連携を強めていきたい。

卒業生が遊びに来やすく、そこで求人を紹介してもらうこともあるので、結びつきを強めていきたい

(6) 防災に関する課題

防災用品のダンボール保管が目立つこと。

不要なものの処分を進めると共に、棚やケースの購入をする、棚の固定をすること。

防災マニュアルを整備し危機管理を高めていきたい。

(7) 学生の受け入れ募集

概ねできている評価だが、より効果的な、学校の魅力の発信をするためアンテナを常に高く張っていきたい。

(8) 財務

例年前年度から圧倒的に良くなっている、

中央会計から先生に来ていただき、職員研修を行った。

▶質疑応答

(理事長)

(山岸委員)

授業外で自主的に勉強することを推奨しているのであれば、
2時間以上勉強する割合が少ない

(神子島委員)

組織図を作る→働く人がどうしたら働きやすいか。どんなに人がいても生産性が上がらなくては意味がない。

(伊藤委員)

「わからない」が言えない子が多い。師範で聞いても質問が来ないが、個別に声をかけると答える。班の中でのディスカッションも少なくなっていて、お互いに意見を言う・指摘をすることが少ないと感じる。対人関係が苦手なのかもしれない。

レシピ通りに、言われたことをそのまますることには長けていると思うが、味見をしたり・自主的に何か行動をするという場面が少なくなっていると感じる。

(渡辺委員)

職員評価ではあまり評価が伸びていない情報システム化について、DX＝全てデジタル化、という意味ではなく、本来人間がやらなくても良い作業を見つけること。

学生の満足度が上がっている中で、もっと食に夢中になるようなイベントのやり方を提案できたらより良いのではないか。

▶閉会の挨拶（阿部）

貴重な時間を割いてご意見をいただきありがとうございました。

自己評価結果の客観性や、評価の結果を通じて関係者との連携を以てよりよい学校づくりに活かしていくのが目的になる。本日は多岐にわたるご意見を頂戴したことを踏まえ、教職員全体で共有し、学校運営に反映させていきたい。